

地域と医療で咲くコミュニケーション

# あまが咲

2016

5月

No.24

 兵庫県立尼崎総合医療センター

## だより

県立尼崎総合医療センター  
管理局長からの

### ごあいさつ

### 報告

熊本地震にて、  
当センターから  
DMATを派遣



[ 21人の研修医 自己紹介 ]

## 尼崎総合医療センターの“新しい顔”

- 新たな診療取り組み：【経カテーテル的大動脈弁留置術 (TAVI)】  
【出生前診断】・【外傷も含めた重症小児患者への対応】









ハートチーム(循環器内科、心臓血管外科、麻酔科、看護部  
臨床工学部、放射線部、臨床検査部、リハビリテーション部)

## 心臓病治療の新たな幕開け

大動脈弁狭窄症に対する

カテーテル治療 **TAVI(タビ)** の開始

### ＋ 大動脈弁狭窄症とは

心臓は全身に血液を送るポンプですが、その出口には大動脈弁という弁があり開閉を繰り返しています。この弁が加齢などで硬くなり開きが悪くなる病気を大動脈弁狭窄症といい、進行すると血液を送り出す心臓に大きな負担がかかり、心不全や失神を生じ死に至ります。(図1)

### ＋ TAVIって何?

大動脈弁狭窄症が重症になると開かなくなった弁を手術で人工弁に入れ替えるしか救命する方法はありません。通常は胸を切開し、人工心肺を用いて心臓を止めた状態で人工弁に交換する大動脈弁置換術という手術が必要です。この方法は確立されており成功率も高いのですが、高齢者や他の重い病気を患った患者さんの場合には危険性が高かったり、手術自体に成功しても弱ってしまって元の生活に戻りにくいことがあります。最近になりカテーテルという医療用のチューブを用いて鼠径部の動脈などから人工弁を運び、心臓を止めずに植え込む新しい手術が登場しました(図2)。この方法は経カテーテル的大動脈弁置留術(Transcatheter Aortic Valve Implantation ; TAVI)と呼ばれ、従来の手術と比較して体の負担が圧倒的に軽いことが最大の魅力です。そのため今まで高齢や他の病気のために手術をあきらめていた患者さんでも治療できる可能性が高くなります。

### ＋ TAVIを始めるにあたり

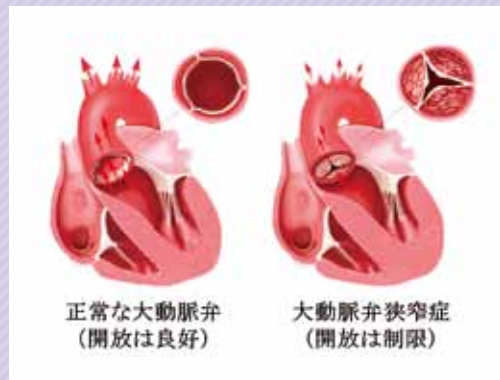
本治療は心臓病に関連する4つの学会からなる協議会が厳しい審査を行い、合格した施設でしか実施できません。それには循環器内科、心臓血管外科、麻酔科を中心としたハートチームの実績が豊富であることと、本治療を実施できる特殊な手術室が必要不可欠です。この手術室はX線透視装置を備えたハイブリッド手術室と呼ばれる手術室で、当院では新病院開院の数年前から本治療の導入を目指してこの手術室の準備をしていました(図3)。このような厳しい基準のために本邦ではわずかな施設でしか実施できないのが現状ですが、このたび当院は実施施設として認定されました。本原稿を作成している平成28年4月までは阪神地区では実施例がなく、遠方の病院で本治療を受けていただいていたのですが、当然ながら患者さんやご家族の負担は相当大きかったものと思います。5月からは本地域内で治療が完結できますのでご期待ください。もちろん全ての患者さんに可能というわけではありませんし、逆に若くて体力の十分ある患者さんであれば長期成績の明らかな従来の手術の方をおすすめすることもあります。どのような治療が最適かについては当院のハートチームで検討させていただきます。実際に受けるかどうかは別として、セカンドオピニオンも含めて気軽にご相談いただければと思います。窓口は循環器内科の火曜外来(担当医 当麻)が中心となりますが、他の曜日や心臓血管外科外来を受診いただいても結構です。どこを受診いただいても最終的にハートチームで検討させていただきます。

循環器内科部長/カテーテル部門長 当麻 正直  
心臓血管外科部長 大野 暢久

AGMC

新たな診療取り組み

【経カテーテル的  
大動脈弁置留術】



(図1)



(図2)



(図3:ハイブリッド手術室)



ハートチームのメンバー

## 小児救急集中治療科

AGMC

新たな診療取り組み

【外傷も含めた  
重症小児患者への対応】より一層充実した体制で、  
あらゆる小児救急患者に対応します！

小児救急集中治療科では、PICU(小児集中治療室)の運営および救命救急センターにおける小児重症患者の診療を担当しています。当院のような規模の大きい総合病院の中に、小児患者のためだけにICUが存在することは非常に珍しいことです。

当科では、今年度から人員が増え、より充実した体制で重症小児患者への対応ができるようになりました。阪神南北医療圏の小児中核病院として、外傷も含めたあらゆる小児救急患者の受け入れ、周辺医療機関からの重症患者転院に対応します。



後列左から：河内医師、加藤医師、菅医師、高原医師、山上医師  
前列左から：江里口医師、豊田医師、花田医師、松田医師



## + ドクターカー

当院のドクターカーは、災害時のDMAT派遣にも対応する大型の車両で、あらゆる年齢層の患者に対応出来る医療機器、診療材料を搭載しています。

当科では、ドクターカー担当医師を常時配置(運用時間：9時～21時)しており、他医療機関からの転院に際しての迎え搬送のみならず、消防本部からの要請(一定の基準あり)があった場合、小児救急を専門とする医師が出動する体制を確立しています。

## 編集後記

開院から怒濤のような半年が経ち、院内もそれなりに落ち着きが出てきたように思います。また、新年度になり人が変わると、同じ部署でも新鮮な気持ちになります。これを機会に、普段の仕事も基本から見つめ直し、より良くしていくように頑張ります。変化をおそれず、進歩につながるように…。(K.Y.)



兵庫県立尼崎総合医療センター

Hyogo Prefectural Amagasaki General Medical Center (Hyogo AGMC)

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町二丁目17番77号 TEL 06-6480-7000(病院代表) FAX 06-6480-7001

URL: <http://agmc.hyogo.jp/>

兵庫県立尼崎総合医療センター

検索